

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/11/08

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	37.41	0.10
JPY/THB	0.2552	0.0005
USD/JPY	146.63	0.01
EUR/THB	37.50	0.33
EUR/USD	1.0020	0.0063
USD/CNH	7.230	0.043
SGD/THB	26.70	0.16
AUD/THB	24.24	0.08
USD/INR	81.91	-0.52
USD Index	110.12	-0.76

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.608	-0.066
10Y (THB)	3.126	-0.055
5Y (USD)	4.388	0.057
10Y (USD)	4.214	0.055

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,680.5	3.9
WTI (Oil)	91.79	-0.82
Copper	7,914.5	-184.5

Stock

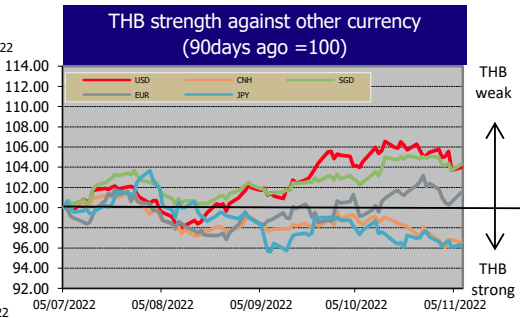
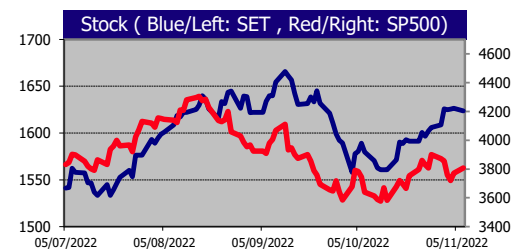
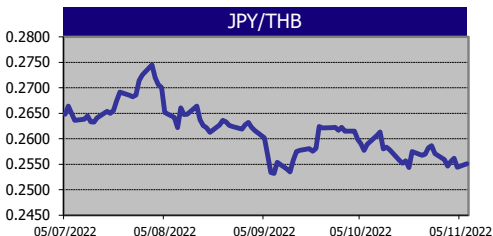
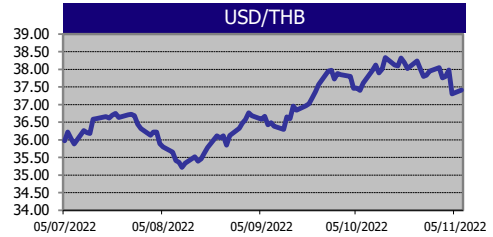
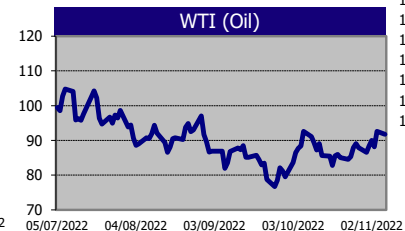
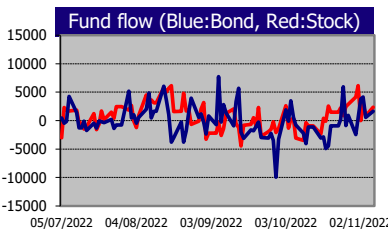
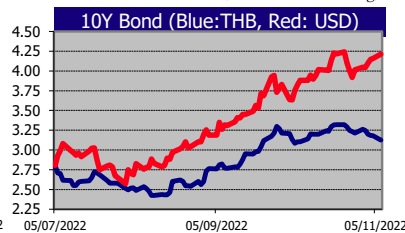
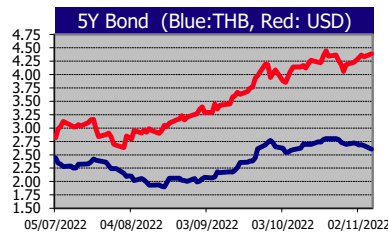
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,623.57	-2.75
NIKKEI (JP)	27,527.64	327.90
DOW (US)	32,827.00	423.78
S&P500 (US)	3,806.80	36.25
SHCOMP (CN)	3,077.82	7.02
DAX(GER)	13,533.52	73.67

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	2,366	1533.9
Bond net flow	1,661	1103.5

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは37パーツ台前半から半ばでのレンジ推移に終始。週間明けのドルパーツは37パーツ台半ば付近からスタート。バンコク時間10時にタイ10月CPIが発表され、コア指数とともに前年比で市場予想をわずかに下回る結果となるも、ドルパーツ相場に大きな反応は見られず。その後、海外時間に入るも米国中間選挙の結果や米10月CPIの発表を控える中、狭いレンジでの推移に終始。結局オープンと同水準である37.41レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は下落した。147円台前半付近からスタートしたドル円は、序盤、146円台後半まで下押しされる場面があったものの、以降は中国コロナ規制の緩和期待後退を背景に底堅く推移。一時147円台半ば付近を付ける場面も見せた。一方で、海外時間に入り、ドイツ9月鉱工業生産指数が市場予想を大きく上回る結果であることが確認されると、リスクオンのドル売りが優勢に。ドル円も下落に転じ、一時146円台前半付近まで下落。ただ、終盤にかけては値を戻し、146.63レベルでクローズとなった。

Bangkok Dealer's Eye

インフレの動向に関して、昨日、IMFの理事は「世界のインフレがピークに達しつつある可能性が高い」との認識を示した。また、米国の金融政策を巡ってはFed高官から過度な利上げを回避し、より小幅な利上げへのシフトを示唆する発言が目立っている。係る状況下、昨日発表されたタイ10月CPIは、前年同月比で+5.98%(市場予想+6.00%)となり、前回(9月:+6.41%)に続いて上昇幅を縮小し、+4.65%であった今年4月以来の水準を記録した。これらに鑑みれば、物価や金融政策の動向に関し、これまでの潮流に変化が訪れていることは感じ得るところ。タイの物価に関してはコアCPIは前回から上昇が続いていることや、中国のコロナ政策の不透明感等、リスク要因はあるものの、今後のリスクヘッジを考える上では、その変化に対する備えが必要になってきているのかもしれない。(末廣)